

令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

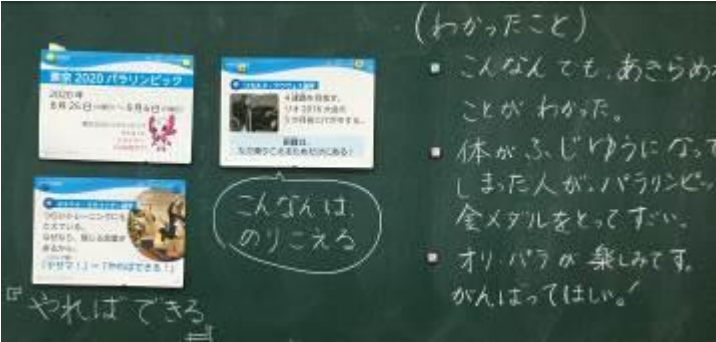
事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【宮城県】

学校名【仙台市立秋保小学校】

1 実践テーマ	I・V
2 実施対象者 (学年・人数)	第1学年4名, 第2学年4名, 第3学年8名 第4学年8名, 第5学年7名, 第6学年13名 計44名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (特別の教科 道徳, 体育) ② 行事名 () ③ その他 (図書教育, 掲示教育) (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	スポーツやオリンピック・パラリンピックに関わる活動を取り入れた指導や I'm POSSIBLE を活用した実践を通じて, 次のねらいの達成を図る。 ・夢や希望を大切にして, 粘り強く取り組む態度を育む。 ・競技の魅力を知るとともに, 障害への理解を深める。
5 取組内容	【特別の教科 道徳】 (1) 2年生 I'm POSSIBLE (2-8) 「パラリンピアンを応援しよう！」 ・パラリンピアンの活躍の様子や結果, 記録を出すための努力を知り, パラリンピックを身近に感じ, 興味を深める。 ・パラリンピアンの姿を見て, 自分自身も前向きに頑張ろうという気持ちを持つことができる。



児童の感想

「諦めないことで困難を乗り越えられることが分かった。」

「2021年のパラリンピックが楽しみです。」

- (2) 2年生 教科書「広い世界のたくさんの人たちと」
 ・2021年の東京オリンピック・パラリンピックを視野に入れて、他国の伝統、文化への理解を深め、親しみを持てるようにする。



児童の感想

「日本の遊びを教えたいな。」

「オリンピックのどの選手が好きか聞いてみたい。」

- (3) 4年生 教科書「花丸手帳～水泳・池江璃花子選手」
 ・オリンピック出場を目指す池江選手を題材に、自分で決めた目標の実現を目指して強い心を持ち、粘り強くやり遂げようとする心情を育てる。



児童の感想

「これまでもいっぱい頑張ってきた池江選手が病気を乗り越えなければいけないことを知って、びっくりしました。」

「絶対オリンピックに出てほしいです。応援しています。」

- (4) 5年生 I'm POSSIBLE (1-2) 「パラリンピアン香西選手ってどんな人だろう？」
 ・車いすバスケットボールの香西選手の活躍とそこに至るまでの様子を知ること、パラリンピックの価値である「勇気」「強い意志」について考える。



児童の感想

「なりたい自分になるために大切にすべきことが分かった」

【体育】

(1) 1・2年生 I' mPOSSIBLE (2-4)「ボッチャをやってみよう！」

- 誰もが楽しめ、集中力、投球技術、戦略性、チームワークなどが必要な競技を体験することで、パラリンピックスポーツに興味を持つ。

(2) 5・6年生 I' mPOSSIBLE (2-3)「ゴールボールをやってみよう！」

- 視覚障害がある人が楽しめるように工夫された競技の体験を通して、普段とは異なる感覚を研ぎ澄まして目的を達成する面白さや、相手の立場に立ったコミュニケーションの大切さについて考える。



児童の感想

「ボッチャはいろんな人が楽しめるね。(2年)」

「耳でボールの音をしっかり聞き取っているんだ。(5年)」

「プロの試合も見てみたいです。その時は静かに観戦します。(6年)」

【図書教育】全校児童

(1) オリンピック・パラリンピック図書コーナーの設置

- 図書室にオリンピック・パラリンピックに関連する書籍を集めたコーナーを設置し、オリンピック・パラリンピック種目に対する興味・関心を高める。

【掲示教育】全校児童

(1) オリ・パラ新聞クイズラリー

- オリンピック・パラリンピックに関係した新聞記事の切り抜きと、その記事に書かれていることを答えとしたクイズをセットにして校内の各所に掲示し、ウォークラリーのように答えていく活動を設定し、友達と楽しみながらオリンピック・パラリンピックについての興味・関心を持つ。

児童の感想

「たくさんの競技があって、たくさんの選手が集まるんだね。」



6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> • I' mPOSSIBLE (1-2, 2-8) を活用した道徳の実践を通して、スポーツ選手の苦労や努力を実感し、努力することの大切さや諦めない心、夢を持つことのすばらしさを学ぶことができた。 • I' mPOSSIBLE (2-3, 2-4) を活用した体育の実践を通して、競技の難しさやパラリンピアン^①の技術の高さを実感し、競技について、興味を高めることができた。 • 図書・掲示教育を通して、オリンピック・パラリンピックに興味を抱く児童が増えた。
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> • 校内研究の取組の視点への位置付け。 • I' mPOSSIBLE の教科への活用。 • コロナ禍における今年度は、今まで本校で行っていた活動や、教科の学習にオリンピック・パラリンピック要素を関連付けて実践することで、活動の場と時間の確保に努めた。
8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> • 意図的、継続的な指導のためには単元構成の工夫が必要である。 • I' mPOSSIBLE を活用した道徳の実践を行うときは、ねらいに合った価値項目の設定や中心発問の吟味が重要である。 • 講師の人選、依頼、経費などの交渉、指導計画の立案、日程調整など、担当が円滑に進めることができるよう工夫する必要がある。
9 来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> • 各教科等において、I' mPOSSIBLE を有効活用し、オリンピック・パラリンピックに対する興味・関心を高めていく。 • パラリンピアンなどを講師として招待し、交流や体験活動を充実させる。